

## 今月のメッセージ (2014年6月)

日本銀行富山事務所長  
佐子 裕厚

富山にビルゲイツが現れれば・・・

人口減少によって日本経済が停滞していくことが危惧されています。ただ、あまり不安になり過ぎるのも良くないように思います。

企業について考えてみましょう。

マイクロソフト、アップル、グーグル、フェイスブックといえば、今や米国を代表する巨大企業です。ただ、社歴が一番古いマイクロソフトでも創業39年。フェイスブックは創業10年です。いずれの企業も、少数の若者たちが少額の元手で起業し（創業時のアップルの工場が自宅のガレージだった話は有名です）独創的な発想で会社を急成長させたのです。数人で始めたこれらの会社が今や数十万人の雇用を生み出し、米国に巨額の税金を納めていることとなります。

「人々が買いたくなるような商品を作り出していくこと」が企業の成長 については経済の成長 に繋がるのです。人口増減だけが経済の盛衰を決めるものではありません<sup>1</sup>。

この点、当県ではどうでしょうか。国の統計<sup>2</sup>をみますと、当県の起業率（新設事業所数÷総事業所数）は4.8%で全国第45位の低さ（2012年）。「モノ作り県」としてはやや寂しい結果となっています（同じ「モノ作り県」である愛知県は7.6%で全国第10位です）。

「とやま企業未来塾」での起業家志望者へのノウハウの伝授、新製品を県が率先して購入するトライアル発注制度、新産業・ベンチャー創出支援基金によるベンチャー企業への融資など、様々な施策が行われていますが、本格的に効果が表れるまでにはもう少し時間がかかるのかもしれませんが。

ただ、生活に身近な小企業を対象とする日本政策金融公庫の創業融資制度を利用する当県の企業は増えています。2013年度は133件と、リーマンショック後の2010年度に比べて40件も増加しました。

この制度で起業したケーキ屋さんに行ってマカロンを買ってみました。甘みと酸味が程良くミックスした味に、このお店の将来性を感じました。

以 上

<sup>1</sup>日本の高度成長期(1955年～1970年)を考えると、人口は16.2%しか増えていませんが、実質GDPは4.0倍の大きさになっています。

<sup>2</sup> 経済センサス活動調査（平成24年、総務省・経済産業省）。